

新年度予算の内訳は

平成26年度普通会計の当初予算は、総額100億354万円で、昨年度より734万円の増となっている。

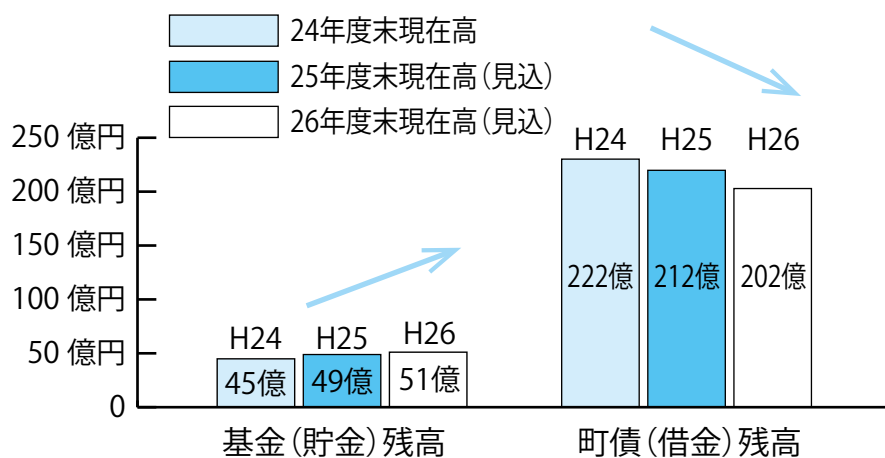
歳入では、地方交付税の増を見込む反面、借金である町債を減らし、財政健全化をめざしている。

歳出では、名和地区拠点保育所の建設が終わったこともあり、建設事業費が減っている。

また、消費税増税や燃料費高騰の影響で、物件費の増が見込まれるほか、町の活性化につながる補助費等に重点を置いた予算となっている。

○普通会計 内訳(金額・説明)

項目	26年度	25年度	比較増減	説明	
歳入	町税	14億4699万円	14億1045万円	3654万円	町民税などみなさんが直接町に納められるお金
	譲与税・交付金	2億8995万円	2億7599万円	1396万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
	国・県支出金	15億8281万円	14億3962万円	1億4319万円	国や県が使用目的を特定して交付するお金
	地方交付税	51億2400万円	49億3000万円	1億9400万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
	繰越金	2億円	1億円	1億円	前年度からの繰越金
	繰入金	7564万円	2億1619万円	△1億4055万円	特別会計や基金から繰り入れるお金
	町債(借金)	8億9260万円	12億3170万円	△3億3910万円	町が事業を行うために借り入れるお金
	その他	3億9155万円	3億9225万円	△70万円	使用料・財産収入・特別会計からの繰入金・繰越金
	合計	100億354万円	99億9620万円	734万円	
歳出	人件費	16億9960万円	17億4216万円	△5256万円	職員の給料や議員報酬などに使うお金
	物件費	20億115万円	18億2130万円	1億7985万円	賃金・業務委託料・消耗品・備品購入に使うお金
	扶助費	8億3188万円	8億2901万円	287万円	医療費・子ども手当などに使うお金
	建設事業費	7億8039万円	10億3314万円	△2億5275万円	道路整備・建物等の建設に使うお金
	補助費等	14億3342万円	12億2204万円	2億1138万円	補助金・負担金として支出するお金
	公債費	14億8804万円	16億1008万円	△1億2204万円	町の借金を返済するために使うお金
	積立金	1億9844万円	2億4472万円	△4628万円	町の基金に積み立てるお金
	繰出金	14億5099万円	14億326万円	4773万円	特別会計に繰出金として支出するお金
	その他	1億1963万円	9049万円	2914万円	施設の維持補修費、貸付金・出資金などに使うお金
合計	100億354万円	99億9620万円	734万円		



基金(貯金)の増加と、町債(借金)の減少を見込んでいる。
平成27年度からの普通交付税減少をふまえ、先を見越した財政運営が求められる。